

「教育目標：心豊かに自ら生き抜く、心身ともにたくましい生徒の育成」

平成27年度 柳津町立西山中学校

学校だより

平成27年9月11日(金)発行 第 20 号 発行責任者:高橋 弘悦

小中合同防災訓練実施！

会津で50年に一度と報じられた昨日の豪雨…。幸いここ西山地区では大きな災害もなく今日を迎えることができました。残念ながら楽しみにしていた地元旅館への体験宿泊は延期せざるを得ませんでした。大きな混乱もなく、無事やり過ごすことができたのはとてもよかったです。



西山地区はご存じのように土砂災害警戒区域に指定されることが多く、今回の南会津のように、土砂崩れや橋の崩落で、地区が孤立してしまう可能性もなくはありません。

4日、このような災害を想定し、西山小中学校合同で、防災訓練を実施しました。訓練は「地域防災の担い手として」をテーマに行ったもので、

- ①自分の身は自分で守る。
- ②特に昼間の高齢化率が高い西山地区では、小中学生が地域防災の担い手である。
- ③中学生は、小学校低学年を保護する立場にある。

以上3点の意識を高めるねらいがありました。

訓練では、小学校の裏山が豪雨で崩落する恐れがある、との想定で、学校が第二避難所として指定している地区の集会所まで、地域に避難を呼びかけながら移動するというものでした。

昨年度の反省を踏まえ、子どもたちから「もっと広く地域の方に避難を呼びかける必要がある」との発案で、3コースに別れて実施。地域の方も子どもたちの呼びかけで多数訓練に参加していただきました。



学校に戻ってからは、福島県建設事務所、福島県砂防ボランティアの方から、模型を用いた土砂崩れメカニズムの解説もいただくことができ、大変充実したものになりました。

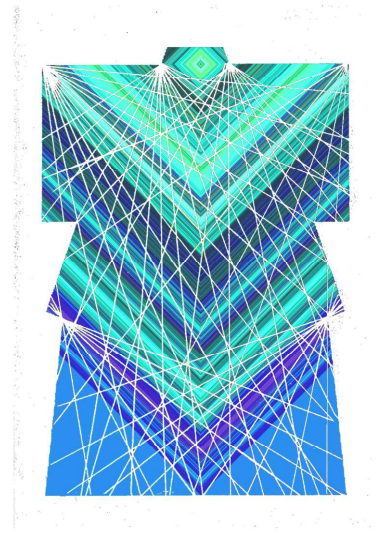
防災ハンカチ配付

防災訓練終了後、「防災ハンカチ」を全児童生徒に配付しました。「防災ハンカチ」は、PTAの方々のご協力で作成したハザードマップをもとに、西山小中学校が印刷して作成したものです。ハンカチの形にしたのは、ハザードマップを作成しただけで満足せず、子どもたちに常に意識して生活して欲しいという願いがあるからです。常に携行し、危険箇所を意識して、「自分の身は自分で守る」という意識を高めて欲しいものだと思います。



友稀さんに滋賀県知事賞

うれしいニュースが飛び込んできました。本校で毎年応募している全国きものデザインコンクールのジュニア中学生の部で、杉原友稀さんの作品が、全国で3位にあたる滋賀県知事賞に輝きました。表彰式は11月14日(土)京都市美術館で開かれます。



秋を楽しむ 校内写生会実施

本来ならば、西山温泉の各旅館に宿泊し、そのまま写生会に…との予定を組んでいた今年の自然ふれあい学習Ⅱ。豪雨対応のため宿泊はなくなりましたが、本日無事実施することができました。

当初、西山温泉周辺を写生に考えていましたが、川が増水していましたので、急遽校内での実施に変更。それでも西山の美しい自然にしっかり向き合うことができました。

前号でご紹介したように、かつて、人の人生の選択にも影響を与えたこともある西山中学生の絵です。今年はどうな作品ができあがるか、とても楽しみです。



地元体験宿泊は15日

豪雨対策のため延期としていた地元温泉体験宿泊は、15日に実施します。

15日には、西山温泉せいざん荘で温泉たまご創作料理試食会も行います。給食も食べて、試食もして、そして旅館でも夕食を…。考えただけでもお腹がいっぱいになりそうですが、当日は食欲の秋を満喫したいと思います。

